

女性医師による診察を

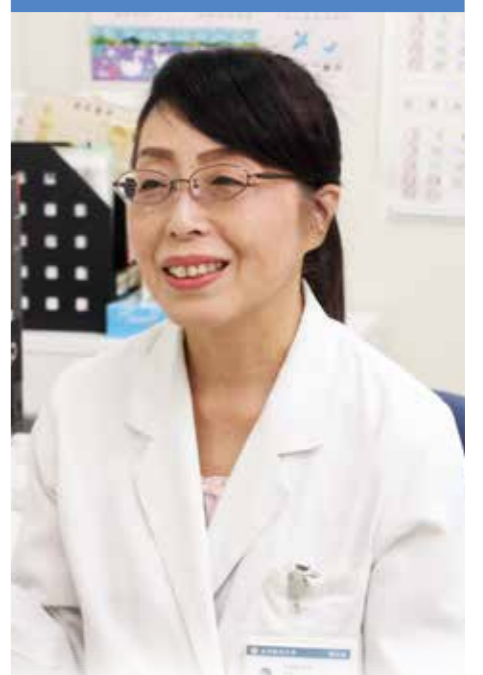
女性はそのライフステージの中で、男性とは異なる健康上および社会的な問題に直面します。顕著なところでは、思春期から月経が始まり、性成熟期での妊娠・出産、閉経前後の更年期、そして老年期を迎えます。この間、仕事や育児、介護などがもたらすストレスによって女性ホルモンと自律神経のバランスを崩しやすく、身体にさまざまな不調が現れます。思春期や更年期におけるメンタルの変調もよく知られているところです。ところが、女性のこうした特性

性差を尊重した医療

女性患者を多面的にサポート

身体やこころの男女差を踏まえた「性差を尊重した医療」の概念が近年、浸透しつつあり、金沢医科大学病院では女性特有の疾患に幅広く対応できる医療体制の構築を石川県内でいち早く進めました。同病院女性総合医療センターの土島睦センター長に、女性の特性を考慮した医療について聞きました。

| 今月の回答者 |



つしま むつみ
土島 睦

金沢医科大学肝胆膵内科学 教授
金沢医科大学病院女性総合医療センター長・肝胆膵内科学科長
日本内科学会認定内科医など

を考慮した医療サービスの提供はこれまで十分でありませんでした。発症する病気だけでなく、薬の効き方にも実は男女差があったりするので、現代医療において臓器別の専門化が進んだことで、そうした点は個別の診療科での対応に終始していました。

オーダーメイド医療実施

当センターでは現在、医師5人のほか、専門の臨床心理士2人、管理栄養士1人が診察やカウンセリング、栄養相談に取り組んでおり、看護師を含めた多職種全員が女性です。

来院する患者さんは、年間延べ200人ほど。患者さん一人ひとりが置かれている環境とライフステージ、現在の健康状態を把握

ホルモン療法に効果

また、体調不良の原因が加齢などによる女性ホルモンの減少と診断できた場合は、女性ホルモンをコントロールする低用量ピル（OC）の処方と女性ホルモン補充療法（HRT）を組み合わせた治療を実施し、大きな効果を上げています。生理不順や冷え性、更年期障害の改善には漢方薬も効果があり、医師が患者さんの症状を診ながら、適切な治療法を選択します。

他の専門診療科への橋渡しの役割も女性総合医療センターは担っています。先に挙げた症状に悩む方は当センターにまずお越しください。

禁煙に関する要望にも当センターでは対応しています。女性総合医療センターならではの特徴としては、完全予約制による個室診療と初診時に30分程度の時間をかけて医師が診察をする点、臨床心理士によるカウンセリング、ホルモン療法や漢方による治療が挙げられます。医師の診察は、事前に看護師に

による問診と血液検査を終えてから行います。医師は患者さんから丹念にお話を聞きながら、検査結果と照らし合わせて症状の原因を探ります。

症状が心因性と判断でき、精神科医による治療までには必要ない場合は、自費診療になるのですが、臨床心理士がカウンセリングを担当します。認知行動療法によって、患者さんの心を不安定にする偏った物事のとらえ方、考え方の修正を図っていきます。

「心のエステ」として、臨床心理士によるカウンセリングに定期、不定期に訪れる患者さんもおおり、臨床心理士は患者さんのよき相談相手となっています。

女性総合医療センターでの主な診療内容

- 自律神経失調症状【立ちくらみ、めまい、冷え性など】
- 更年期症状【のぼせ、ほてり、頭痛、肩こり、動悸など】
- 精神的症状【不安、不眠、イライラ、うつ状態など】
- 胃腸症状【便秘、下痢】
- 肥満
- 糖尿病
- 乳がん
- 子宮がん
- いびき、睡眠時無呼吸症候群
- アンチエイジング
- 美容
- 禁煙
- その他【骨粗鬆症、高脂血症、生理不順、女性の気になるあらゆる症状】

初診時に約30分の診察

思春期のティーンエイジャーも生理不順などの体調不良に悩むことが多く、保護者が付き添って来院するケースが少なくありません。このほか、アンチエイジング、美容



臨床心理士によるカウンセリングも受けられる